

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

☐ 計画 ☐ 事業化 ☐ 事業 ☒ 管理

個13事03

政策名	3 夢のふくらむ港	22年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)	責任者	港営部 関連事業担当課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成	事務事業	成果	コスト
個別施策名	13 人びとの交流の場を充実する	継続	拡大	維持
事務事業名	03 名古屋港水族館の管理運営	連絡先	052-654-7836	
		連携課	施設工事担当	
目的	名古屋港水族館を効率的・効果的に管理運営し、多くの人が訪れる施設にします。			事業 期間
				平成18年度～継続
概要	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良い維持管理と高質な利用者サービスを提供します。			根拠 法令等
				指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港水族館条例
				実施 義務
				☐ 有 ☒ 無
23年度の実施予定	22年度に引き続き、定例的な会議、モニタリングなどを通じて、指導・助言を行っていきます。			関連 シート

2 DO(実施)

23年度に実施した 内容・結果	毎月の定例会議のほか、月度・四半期・年度でモニタリングを行いました。 企画展やイベントの開催に際し、内容等について協議し、最適なタイミングでニュースリリースしました。 鴨川シーワールドからのシャチ3頭の受入れが円滑に執り行えるよう調整を図りました。					
コスト(年度)	単位	19(実績)	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)
事業費 計	千円	0	0	0	0	0
一般会計	千円	0	0	0	0	0
事業会計	千円					
その他	千円					
人員費 計	千円	10,422	10,524	10,298	10,177	10,344
正規職員	人	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	千円	10,422	10,524	10,298	10,177	10,344
		備考(款項目節等)				
		(款項目節)				
		(算出計算式)				
		(その他)				
		水族館の管理運営費は、指定管理者により入館料金等の収入で賄われており、本組合からの支出はありません。				

3 CHECK(検証)

活動・成果指標(単位)	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
定例会議・モニタ リング回数(回)	目標	39	39	39	39	29		29	23年度より、定例会議を月2回から月1回に変更しました。
	実績	40	39	40	39	29			
	達成率(単年度%)	102.6	100.0	102.6	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
入館者数(万人)	目標	200	200	200	200	200		200	
	実績	211	190	172	176	179			
	達成率(単年度%)	105.5	95.0	86.0	88.0	89.5			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)							その他特記事項
必 要 性	どうしても必要な事業か?	☒ ○ × ☐	良好な維持管理と高質な利用者サービスが提供できるよう、指導・助言は必要であると考えます。						
	利用者のニーズは高いか?	☒ ○ × ☐	入館者数が2年連続で増加しているため、ニーズは高いと考えます。						
	本組合が関与する必要があるか?	☒ ○ × ☐	良好な維持管理と高質な利用者サービスが提供できるよう、指導・助言を行うなど、関与は必要であると考えます。						
有 効 性	目的や目標の水準は妥当か?	☒ ○ × ☐	入館者数は増加しているものの、目標には達していませんが、2年連続で増加しておりますので、達成可能な目標であると考えております。						
	目標を達成したか?	☐ ○ × ☒	入館者数においては、目標に達しないものの、2年連続で増加しているため、一定の成果はあったと考えます。						
	個別施策へ貢献したか?	☒ ○ × ☐	入館者数が2年連続で増加しているため、一定の成果はあったと考えます。						
効 率 性	最小のコストで成果をあげているか?	☒ ○ × ☐	定例会議は本庁舎内で開催しているため、成果はあったと考えます。						
	受益者に適正に負担させているか?	☒ ○ × ☐	入館料として負担していただいております。						
	効率的な運営主体となっているか?	☒ ○ × ☐	すでに指定管理者制度を導入していますので、効率的な運営は行われていると考えます。						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入館者数を実現するため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスが提供できるよう、引き続き、指定管理者への指導・助言を行うとともに、他の施設と連携したイベントやその他の様々な企画展の告知について、集客増につながるよう、指定管理者と協議して行っていきます。				